



じどうしつだより * 12月号 No.466

阿久比町立図書館

48-6231

2024.12.1(日)

MERRY CHRISTMAS!!



🔔 クリスマスの本 🔔

『うまやの クリスマス』 え 192 ク

マーガレット・ワイズ・ブラウン 文

バーバラ・クーニー 絵 松井るり子 訳



『きのいいサンタ』 え 913 サ

さとうわきこ 作・絵



『クリスマスのまえのよる』 え 931 ム

クレメント・C・ムーア 詩 坂本美雨 訳

ミスター・ボディントン 絵



『クリスマスマーケットのふしぎなよる』

たなか鮎子 作 え 913 タ

はじめてクリスマスマーケットにでかけたヨハンは、いじわるな北風にふきとばされて、ツリーのてっぺんからおこちてしまったお星さまをみつけます。くるみわり人形と協力してお星さまを助けることになり…。



『コーギビルのいちばん楽しい日』 え 933 チ

ターシャ・テューダー 絵・文 食野雅子 訳

アメリカの小さな村コーギビルに住んでいるのは、コーギ犬、ネコ、ウサギ、妖精のボガート。一年でいちばん楽しいクリスマスが近づき、村じゅうが、そわそわ。クリスマスの準備が始まります。



『星空としゃかんへようこそ』 児 913 コ

小手鞠るい 作 近藤未奈 絵



『どろろん ようかいの森』

サンタクロースがやってきた!』

南田幹太 作 広瀬克也 絵 児 913 ナ



『ミミとまいごの赤ちゃんドラゴン』 児 933 モ

マイケル・モーパーゴ 作 おびかゆうこ 訳

ヘレン・スティーヴンズ 絵



『ラブ・ウール100%』 児 913 イ

井上林子 作 のだよこ 絵

とつぜん転校することになったアミコ。新しい学校の図書室でぐうぜん手にとった編み物の本にみちびかれて、「ニットカフェ・モヘア」にたどりつく。そこには、編み物を教えてくれる魔法使いのような先生がいた。



『クリスマス物語集』 児 933 ナ

中村妙子 編訳

サンタクロースっているんでしょうか？、だれが鐘をならしたか、毎日がクリスマス、クリスマスのまえのばんなど、世界各地で読みつがれてきた14編のクリスマスの伝説やお話、詩を集めた物語集。



★ 展示ホール

親子ふれあいキャンペーン
読書カレンダー

12/4(水)～12/15(日)

阿久比中学校作品展
12/19(木)～1/14(火)

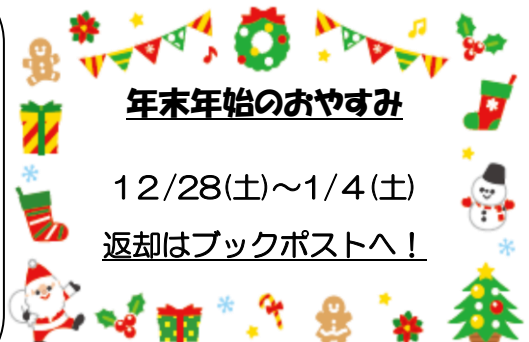
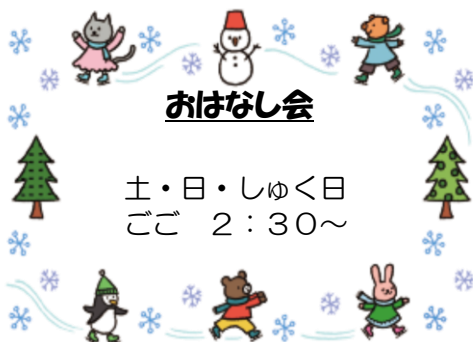
年末年始のおやすみ

12/28(土)～1/4(土)

返却はブックポストへ!

おはなし会

土・日・しゅく日
ごこ 2:30～





あたらしい本



『はたらく図書館』 え 013 ヨ

吉田亮人 写真 矢萩多聞 文

図書館がはじまるまえに、たなに
ならんだ本をととのえ、返された本を
チェックします。お客さんがやって
くると、質問にこたえたり、書庫の
本をとりだしたり…。図書館の1日を写真で紹介します。



『おせち』 え 596 ウ

内田有美 文・絵 満留邦子 料理 三浦康子 監修

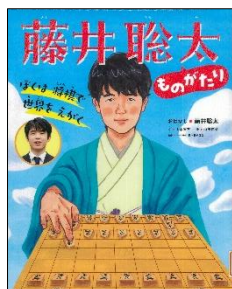
おせちりょうりって しってる？
くろめめ、かずのこ、たづくり、
こぶまきや だてまき、えびなど、
おせちりょうりと そこに こめられた
ねがいを しょうかい します。



『藤井聡太ものがたり』 え 796 ヤ

藤井聡太 おはなし 山本省三 文
山田花菜 絵 日本将棋連盟 監修

藤井聡太さんは、将棋の棋士です。
5さいのときに将棋セットをもらい、すぐに
ルールやさしかたをおぼえた聡太さんは、
将棋にむちゅうになっていきます。



『ライオンのかくにのネズミ』 え 913 サ

さかとくみ雪 作

パパのしごとをつごうで、ライオンのかくにに
ひっこしたネズミのかぞく。ぼくは、ライオン
のかくにのがっこうに行くことになったが、
ライオンごもわからず、からだのおおきさも
ちがうかれらがいやでしかたなく…。



『おかえりなさい、スノーマン』 え 933 フ

マイケル・フォアマン 文・絵 三辺律子 訳

さむいふゆの一日がおわるころ、
まちのこうえんに、こどもたちがつくった
スノーマンがたっていました。
スノーマンは、こえをかけてきたコマドリの
あんないでまちをあるくことに。やがて、
よあけのそらに、おひさまの光がかがやき…。

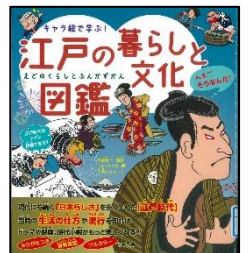


『キャラ絵で学ぶ！江戸の暮らしと文化図鑑』

伊藤賀一 監修 児 210 セ

いとうみつる 絵 千羽ひとみ 文

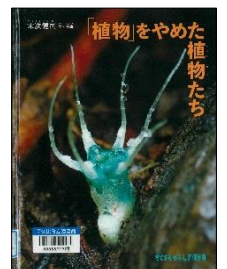
江戸時代ってどんな時代？江戸時代の
人びとがどんな暮らしをしていて、
どんな文化や流行が生まれたのか、
イラストでわかりやすく解説します。



『「植物」をやめた植物たち』 児 471 ス

末次健司 文・写真

植物のほとんどは、光合成をして自分で
栄養をつくり出しますが、なかには、
光合成をやめてほかの生きものを食べて
生活している植物がいます。光合成を
やめた植物たちの特徴やくらしを紹介。



『脳のはたらきとニューロダイバーシティ』 児 493 ク

ルーズ・グッディング 著 上原昌子 訳

岡田俊、林(高木)朗子 日本語版監修

脳は一人ひとり違い、自分とまったく同じ
脳を持っている人はいない。そんな脳の
基本と、すばらしい働き、個性的な脳を
持つ人たちの話をイラストで紹介。



『呼人は旅をする』 児 913 ハ

長谷川まりる 著

「呼人」とは、なにかを寄せてしまう体質の
人のこと。動物や虫、植物や自然現象など
寄せるものは人それぞれ。ひとつの場所に
とどまることができず、旅をする5人の
呼人と、呼人に関わる人たちの姿を描く。



『トッケビ梅雨時商店街』 児 929 ユ

ユ・ヨングアン 著 岩井理子 訳

身の上話を書いて送ると、不思議な
チケットが届くという。梅雨入りの日にその
チケットを持って廃墟に行くと、トッケビ
梅雨時商店街に行くことができる。
そこでは、不幸を売って希望どおりの
人生を手に入れることができるというが…。

